



Megumi's Daily Japanese Adventures Season1 Transcript

2025.09.30 Episode#049

まさかの“トリプル旅”！？乗継時間も旅に変える、私の夏休み！

My unexpected “Triple Journey!” Turning layover time into part of the trip.

【1】皆さんこんにちは 今日は 2025年9月30日 火曜日です9月も今日で終わりですね…最近やっと涼しくなって、

少しずつ秋らしくなってきました。そして今年もあと3か月ですね。うん、頑張っていきましょう！ということで、

Megumi's Daily Japanese Adventures スタートです。

【2】今日は、私の夏休みの旅行についてお話ししたいと思います。

旅行計画で使う言葉もたくさん出てくると思いますので、ぜひ最後まで聞いてください。今年はい引っ越しもあり、

いろいろ環境も変わったので、夏休みを長く取ることはできないかなあと、早々に諦めていたんですね。でも急に、

9月なら行けるかも！と状況が変わって9月中旬に6泊8日でオーストラリアのシドニーに行ってきました。

ホテルに泊まるのは6泊で、1泊は機内泊、8日目の朝9時に日本に帰着するというスケジュールです。オーストラリアには

今まで行ったことがなくて、よく日本に来てくれる生徒さんでもあり友人のご家族にも会いに行ってきました。旅程も入国に関する

案内も滞在中の観光計画もすべて彼女が日本語で作ってくれて、日本語でガイドしてくれて、これも日本語学習の一つに

なるのかなあと思いましたね。

【3】どんな旅程だったかという、日本の中部国際空港発着ではシドニー行直行便の運航がないのでシンガポール経由便で

行くことにしました。シンガポールからシドニーに行く乗継便までの時間を長くして、乗継時間で

シンガポールも観光しようという計画です。乗継時間 17 時間のフライトをあえて選んでシンガポールに入国し、ホテルに 1 泊

することにしました。個人旅行では事前には取得しなければならない物を自分で調べることがとても重要です。

これがちょっとドキドキで。シンガポールに一度入国するので、Web や App から Arrival card の入力をしたり、オーストラリアの ETA（電子渡航許可）の申請、それから Visit Japan の登録をしたり この登録をすることによってパスポートだけで認証できるから、入国時に登録情報を印刷して持って行かなくても OK ですよっていう場合と、登録すると QR コードが作成されるので、それを印刷するなりスクリーンショットを撮るなりして持って行ってそのコードをスキャンすることで入国や税関申請をしたり、国によって様々違うので、本当に大丈夫かな？と何度も確認しましたね。シンガポールは 24 時間以内の乗継なので途中降機にはならず、預け入れの手荷物、受託手荷物は預けたまま機内持ち込み用のキャリーバックに 1 泊分の着替えを入れて、入国しました。発音クラスの生徒さんでシンガポール在住の方ががいっしょるのでいろいろ教えてもらったんですけどね、とても参考になりました。本当感謝ですね。

【4】シンガポールへの到着がこの日 20 分位早着、早く着いたので入国審査もスイスイで待ち時間 0 であつという間に入国。そこから

クラークキーのホテルまですべて順調に到着しました。シンガポールでは

限られた時間の中でできるだけ多く効率的に回りたいし夜の景色も見たいので、日没前足早にマーライオン公園に歩いて

行きました。しっかり写真を撮って、すぐ近くでチリクラブを食べました。揚げパンもチャーハンも美味しかったです。その後

SPECTRA という噴水のショーを見ながらマリーナベイサンズの屋上へ向かいました。せっかくだからどんな景色なのか上から見て

みたくて「あっ、ここが有名な infinity プールか」と思いながら、ライトアップされたプールと夜景を楽しむことができました。

その後ホテル近くクラークキーまで散策して。レストランの明かりが川に反射してきれいでしたね。短い時間でぎゅっと凝縮して

シンガポールの乗継時間を全力で楽しみました。次の日の朝早くにホテルを出発して夜シドニーに到着しました。

【5】シドニーでの予定は、到着日から 2 泊、移動してエアーズロックに 1 泊、シドニーに戻って 2 泊という予定です。

実質丸一日シドニーを楽しめるのは 2 日間。でも見どころもたっぷりいろいろな経験をさせてもらいました。

ロイヤルボタニカルガーデンから海沿いを歩いてオペラハウスがあるサーキュラーキーに行ったり、ランチはクラフトビールのお店で

ミートパイをいただいたりシティやダーリンハーバーにも行きました。フェリーで移動してお夕食にはカンガルーのお肉も

はつたいげん ふる まちな ふん い き のこ まち つ
初体験しましたね。さらに古い町並みの雰囲気が残るニュータウンという町に連れて行ってもらったり、Bondi beach のすぐ近く
の café で朝食をとって、タロンガ動物園にも行きました。近くから初めてコアラを見ることができてとっても可愛かったし園内も広
くて、キリンの向こう側に海を越えてオペラハウスが見られて新しい動物園の楽しみ方ができましたね。シドニーの街を余すところ
なく楽しんで電車の乗り方にもすっかり慣れました。1 日歩数は 20000 歩越え、約 15km 歩いた日もありました。

たいざいちゅう こくないせん まんてん ほしぞら なが
【6】滞在中、国内線でウルルへ向かいエアーズロックを見に行っただすね。リゾートからのサンセットや満天の星空を眺めて
そうちょう
早朝サンライズ

し ぜん なか す で まじ かん しず
見ながら自然の中でゆっくりと過ごす時間ができました。エアーズロックを見るプラットフォームから日の出を待つ時間がとっても静
かで、朝早くて寒いけど頑張って行って良かったです。太陽が上がるにつれて、その太陽の光を浴びたエアーズロックの色が変化
していくのが素晴らしかったですね。私は旅先での観光もいいですけど暮らしの中に入る旅がとても好きですね。

こんかいにほんしよく にほんしよく しょうかい
【7】今回日本食レストランにもフィッシュマーケットにも連れて行ってもらいました。どのように日本食が紹介されているのか、

げん ち こめ あじ きょうみ せいかつ みつちやく
どのようなアレンジなのか。現地のお米はどんな味かとても興味があります。生活に密着したスーパーマーケットに行って、

しよくざい かていりょうり ゆうじん か ぞく とお せいかつ ふ
どのような食材があって、どのような家庭料理をつくるのか、友人の家族を通して、生活に触れることもできました、

ばし しょ かんかく ほんとう しんせつ むか ゆうじん か ぞく
初めて行った場所ではないような感覚になりました。本当に親切に迎えてくれた友人とそのご家族のおかげですね。

ゆうじん じょう むすめ きょうみ ぜんかい き と
で、この友人のお嬢さんが娘さんが日本語に興味を持ってくれて、前回会った時よりはるかに日本語が聞き取れるように

にほんごりよく はな たいせつ
なっていて、私が滞在中の間もすさまじく日本語力が向上していきまして、ためらわずにどんどん話すことって大切なんだなって

じっかん おぼ にじ かい ことば つか
実感しました。覚えてたの「二次会」という言葉いっぱい使ってくれてましたね。

あたた ゆうじん か ぞく しゅっぱつ
【8】とてもとても温かいおもてなしをしてくれた友人とご家族に感謝しながら、シドニーを夜 6 時ごろ出発して、シンガポールで

のりつぎ よくあさ
乗継、翌朝 9 時に日本に到着するはずが・・・

シドニー出発が遅れまして、シンガポール到着が約 30 分遅延。当初のシンガポールの乗継時間は 1 時間。最低乗継時間はクリアしているけど大丈夫かなあとちょーっと心配だったんですね。シンガポールに着いたら、グランドスタッフに声をかけてくださいと機内でアナウンスがあり、どうやらレスキューしてくれると言っていました。

【9】この時点で日本に帰るフライトの搭乗締め切り時刻まで約 30 分。飛行機を下りて早速グラウンドスタッフに声をかけたら、なぜか新しい搭乗券を渡され、よ〜く見たら翌日同じ時間の搭乗券、それとホテルのチケットがついていて。

「いやいやいやいや、ダメです、ダメです。今日日本に帰らなきゃダメなんです。搭乗口はどこですか？」って聞いたら

「Transfer B に行ってください。」と言われ、Transfer B どこ？と思い急いで行くと、カウンターの中にいるスタッフの方はお一人

で、私の前にお二方待っている乗客がいて、この時点で搭乗締め切り時刻 15 分前だったんですね。やっと順番が来てカウ

ンターの中にいるスタッフの人にチケットを見せたら、「You cannot board this flight.」って言われました。

「えっ？この便に乗ることはできないってどういうこと？」私、英語はあまり得意ではないんですけど、っていうか

全然得意じゃないんですけど、「cannot board」だけはしっかり聞こえて。

「えっ！でも今日帰らないと本当にダメなんです。帰ります、今日帰ります」って拙い英語で主張したら、そのスタッフの方は

しばらくパソコン画面を見ながら、キーボードを操作していきまして、言われた言葉が「OK！Go Seoul！」って言われて

「えっ？ソウル？えっ？ソウルって今言いました？えっ？私これから Seoul に行くんですか？Seoul 経由で帰るんですか？」

みたいな感じでもうびっくりでしたね。

【10】ソウルの仁川空港経由で帰ると乗継時間が 5 時間半で夜 6 時には中部国際空港に到着できるということだったので、

もうこのフライトに乗るしかないですよ。急だったので家族とは席も離れてしまったし、

3 人掛けの席の真ん中の席しか空いてなかったので私は正直 Seoul までの 6 時間以上大丈夫になって、う〜ん、ちょっと不安

だったんですね。でもまあ、一緒に行った家族は切り替えがすごく早くて「ソウル？じゃあ、焼肉食べて帰る？」みたいな感じに

もうなってるんですね。「切り替え早っ！」って思ったんですけど。まあ、私も心配でしたけど、仁川空港の到着が近づくにつれて

「もうせっかくだから、じゃあ、韓国も楽しんで帰ろう！」っていうふうに、気持ちが切り替わりまして。もう機内で有料の Wi-Fi まで

繋いでおいしい焼肉屋さん調べましたね。「5 時間半あるから、入国できるね」って言いながら、

しっかり入国をしておいしい焼肉楽しんでできました。まさかここでも乗継時間を全力で楽しむとは思わなかったです。

でも、焼肉美味しかったです。

【11】今回は私の夏休みの旅をご紹介します。

シンガポール、シドニー、そしてソウル。まさかソウルまで楽しめるとは思いませんでしたね。

あの～、シンガポールの乗継の Transfer B で「Go ! Seoul」って言われた時の impact。まだ忘れられませんね。

今日は旅行で使う言葉もたくさん出てきたので、何か参考になれば嬉しいです。最後まで聞いてくれてありがとうございました。

素晴らしい景色の写真と美味しそうな写真を Website にのせますので是非見てください。めぐみでした。